

# 日本の伝統文化を考える

「和の心・静の心は世界に誇れる日本の心」伝統文化を人間形成の軸として文化的素養の向上をはかり国際化を踏まえた自国文化の理解を推進し、伝統文化の継承・普及・発展につなげる。これが研修館の開設目的である。特に青少年の伝統文化継承と育成は様々な観点から、今日本が取り組むべき課題である。ふるさと意識、地域への愛着の醸成の基盤となしてほしい。

H29年 3月26日(日) 13:00～15:00

会場 兵庫県伝統文化研修館(姫路市双葉町 122)

## ● 青少年の伝統文化継承と育成事業

参加無料  
要予約  
※定員 80名

～プログラム～

### 第一部 「舞・音による倭の心の体現—花笠かぶき」

小中高生が歌舞伎舞踊や和楽器にとりくんでいます

- さくらチーム 「三番叟」「連獅子」「藤娘」ほか  
「太鼓、小鼓の合奏」
- ジュニアチーム 「胡蝶」「鶴亀」
- 菊チーム 「寿」「鶴の声」

### 第二部 高校生による日本の伝統文化の体験発表

伝統文化体験を通じ何を学び感じたか、高校生の視点で発表します。

#### 姫路市立琴丘高等学校

箏曲部 「無限流」「海に見える町」

#### 兵庫県立香寺高等学校

箏曲部 「花筏」「三段の調」

茶道部 「茶道を通じて学んだこと」

外国人生徒による発表「柔道を通しての日本文化」

※兵庫県伝統文化研修館 HP にて予約が必要です。

申込み多数の場合は抽選となります